

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公表番号】特表 2018-505036 (P2018-505036A)

【公表日】平成 30 年 2 月 22 日 (2018.2.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-007

【出願番号】特願 2017-562953 (P2017-562953)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/02 5 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 6 日 (2020.7.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒューバー針組立部品用のためのドレッシング (10) であって、

患者に埋め込んだヒューバー針組立部品 (13) のハウジング (14) を受け取るための開口部 (26) と、患者に接着するために裏面上に接着剤層 (19) を有するパッド (18)、および

前記開口部に整合して前記パッドに固定され、前記ヒューバー針組立部品 (13) の前記ハウジング (14) を収容し、前記ヒューバー針組立部品の前記ハウジング (14) からのチュービング (15) の通路用溝 (30) を有する、透明なドーム状の覆い (28)

、
を含み、

前記パッド (18) に折り重なって前記パッド (18) に固定され、前記パッド (18) を覆う大きさの折りたたみ可能部分 (12) を含み、前記折りたたみ可能部分は、患者への固定のために、周囲に接着剤 (23) を有することを特徴とする、
ドレッシング。

【請求項 2】

前記パッド (18) 上に前記折りたたみ可能部分 (12) を折り重ねて、前記パッド (18) と前記折りたたみ可能部分 (12) の間に湿気が入らないようにするために、前記折りたたみ可能部分 (12) を前記パッド (18) に固定するための密閉部 (34、35) を含む、請求項 1 記載のドレッシング。

【請求項 3】

前記密閉部 (34、35) は、前記折りたたみ可能部分 (12) と前記パッド (18) のうちの 1 つに U 型パターンに配置されたメス型構成要素 (34) と、前記折りたたみ可能部分 (12) と前記パッド (18) のうちの他方に U 型パターンに配置され、前記メス型構成要素 (34) と対になる、オス型構成要素 (35) を含む、請求項 2 に記載のドレッシング。

【請求項 4】

前記パッド (18) は、前記ヒューバー針組立部品 (13) の前記ハウジング (14) から出て、前記透明なドーム状の覆い (28) の周囲を巻く前記チュービング (15) の前記通路用溝 (30) と一直線である 1 つのスリット (27) を含有する、請求項 1 から

3のいずれか一つに記載のドレッシング。

【請求項5】

前記透明なドーム状の覆い(28)への衝撃力を緩和するため、前記透明なドーム状の覆い(28)内の周囲に配置された硬質発泡材料の挿入口(31)をさらに含む、請求項1から4のいずれか一つに記載のドレッシング。

【請求項6】

ハウジング(14)、患者の皮膚を貫通するための針、および前記ハウジングから伸び、前記針と通じ合うチュービング(15)を有するヒューバー針組立部品(13)と、前記ハウジング(14)を覆うドレッシング(10)であって、前記患者の皮膚に固定され、前記ハウジング(14)を受け取るための開口部(26)を有するパッド(18)と、前記開口部(26)に整合し、前記パッド(18)に固定され、前記ハウジング(14)を収容するための透明なドーム状の覆いを含む第1部分(11)を有するドレッシング、

との組合せであって、

さらに前記チュービング(15)を包み込むために前記第1部分(11)に折り重なって前記第1部分(11)に固定される透明な第2部分(12)を含む、組合せ。

【請求項7】

前記第1部分(11)と前記第2部分(12)の間から侵入してくる湿気を防ぐために、前記第2部分(12)を前記第1部分(11)に開放可能に固定するための密閉部(34、35)をさらに含む、請求項6に記載の組合せ。

【請求項8】

前記パッド(18)が前記ハウジング(14)からの前記チュービング(15)の通路のためのスリット(27)を含み、前記透明なドーム状の覆い(28)が前記チュービング(15)の通路のための前記スリット(27)と一直線になった通路用溝(30)を有し、前記チュービング(15)が前記透明なドーム状の覆い(28)の周囲に巻きつき前記第2部分(12)が前記チュービング(15)の上に折れかぶさる、請求項6または7に記載の組合せ。

【請求項9】

前記ヒューバー針組立部品(13)は、前記チュービング(15)の端上のカテーテル(16)および前記チュービング(15)上の密閉クランプ(17)を含み、前記カテーテル(16)と前記密閉クランプ(17)は、前記透明なドーム状の覆い(28)の周囲に巻きつき、前記第2部分(12)がその上に折れかぶさる、請求項6から8のいずれか一つに記載の組合せ。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【発明の詳細な説明】

【発明の名称】ドレッシング

【技術分野】

【0001】

本出願は、2015年2月23日出願の14/628,988の一部継続出願である。

【0002】

本発明は、ドレッシングに関する。さらに詳細には、本発明はヒューバー(Huber)針組立部品用のドレッシングに関する。

【背景技術】

【0003】

例えば、米国特許8,574,197から知られるように、血管アクセスデバイス(注入ポート)を患者に埋め込み、痛み止め薬、化学療法、抗菌薬、抗ウイルス薬または抗真

菌性薬を、水分や栄養分の補給と同様に供給する。さらに、ヒューバー針を使用してこれらの血管アクセスデバイスにアクセスを得ることができる。通常、ヒューバー針は患者に埋め込むことができる角度のついたＬ型針であり、施術者が操作するのに手動でつかむことができるハウジングに組み立てられている。

【０００４】

ヒューバー針組立部品は、通常Ｌ型ヒューバー針、ハウジングから伸び、ヒューバー針と連携して、ヒューバー針を介して薬剤またはその他の流動物を注入ポートに運搬するチュービング (tubing)、チューブの先端上のカテーテルおよびチューブの中間部分に位置する密閉クランプからなる。

【０００５】

ヒューバー針は通常、長期注入療法に使用される。針の角度関係により、針の後部を注入ポート周辺の領域において患者の皮膚外面にテープを貼ることによって安全にしっかりと固定することができる。

【０００６】

ヒューバー針は、数日間患者に留置することができるので、ヒューバー針が患者に埋め込まれている部位を覆う必要がある。

【０００７】

従って、埋込型ヒューバー針のための比較的簡単なドレッシングを提供することが本発明の目的である。

【０００８】

本発明のもう一つの目的は、無菌状態での埋込型針の部位を維持することができる埋込型ヒューバー針用のドレッシングを提供することである。

【０００９】

本発明のもう一つの目的は、不注意による衝撃からヒューバー針を保護する埋込型ヒューバー針組立部品のためのドレッシングを提供することである。

【００１０】

本発明のもう一つの目的は、埋込型ヒューバー針組立部品を覆うドレッシングを提供することである。

【００１１】

簡潔には、本発明は患者に埋め込んだままのヒューバー針とともに使用されるべき、ヒューバー針組立部品用のドレッシングを提供することである。

【００１２】

一実施形態において、ドレッシングはヒューバー針の埋込型ハウジングおよびハウジングから伸びているチュービング、カテーテルを保護するために、お互いに折り重なった２つの部分を具備している。ドレッシングは患者のヒューバー針を刺す部位に固定され、保護という形でヒューバー針全体の組立部品を維持しながら、数日間にわたって患者の歩行を可能にする。

【００１３】

ドレッシングの第１部分は、患者に埋め込んだヒューバー針のハウジングを受け取っている開口部を有するパッド、およびヒューバー針のハウジング内に含む開口部に整合し、パッドに固定される透明なドーム状の覆いを具備している。さらに、パッドは、ヒューバー針のハウジングからのチュービングの通路のためのスリットを含み、チュービング、カテーテル、密閉クランプがドーム状の覆いのあたりで曲がるようにし、パッドの上側に対して平らにすることを可能にする。

【００１４】

パッドは、患者の皮膚に固定させるために裏面に沿って接着剤層、および使用前の意図しない目的にパッドの不注意な接着に対して保護するための接着剤の上の３つの剥離層を具備している。

【００１５】

ドレッシングの第２部分は透明であり、第１部分を覆う大きさであって、患者に固定す

るために周辺部に接着剤を有する。この第２部分は、ヒューバー針のハウジング、チュービング、カテーテル、および密閉クランプを無菌的に包み込みながら、曲げられたチュービングおよびカテーテルを所定の位置に挟み込む。また、剥離層は、使用前の意図しない目的での該部分の不注意な固着から保護するために、該部分の境界の粘着剤の上に設けられる。

【００１６】

この実施形態において、ドレッシングの第１部分は、衝撃力に対して、ドーム状の覆いを守るためにドーム状の覆い内の周囲に配置される硬質発泡材料の挿入口を含む。また、挿入口はヒューバー針のハウジングに対する不注意な衝撃に対して保護することにもなる。挿入口はまた、患者に接触する底面に抗菌剤を有する。

【００１７】

使用時に患者に埋め込まれた針をヒューバー針組立部品に包み込むために、第１の剥離層が、パッドの接着層を露出させるためにドレッシングのパッドの裏面の主な部分から除去され、ヒューバー針のハウジングがパッド上のドーム状の覆い内に包含されるように、パッドは患者の皮膚にあてられる。同時に、ヒューバー針のチュービングはパッド内のスリットおよびドーム状の覆い内のスリットを通過する。

【００１８】

次に、チュービングは、カテーテルおよびチュービング上の密閉クランプとともに、ドーム状の覆いの周囲で曲げられる。これに続いて、第２部分をパッド上に覆うように折り曲げて、チュービング、カテーテル、クランプを２つの部分の間に挟み込む一方、ドーム状の覆いも覆う。同時に、第２部分上の剥離層は、パッドの周囲の患者の皮膚とパッドの周辺部に固定するための接着剤を露出するため、第２部分の境界部から除去され、無菌環境でヒューバー針組立部品全体を包み込む。

【００１９】

ドレッシングの２つの部分を一緒に固定するために接着剤を使用するのに取って代わるものとしては、ジップロック（登録商標）密閉またはベルクロ（登録商標）密閉製が使用されても良い。

【００２０】

ジップロック密閉の場合、ドレッシングの第１部分はパッドの周辺から内側に間隙をあけてＵ型パターンに配置された密閉のために必須なメス型構成要素を有する注入成形パッドでできている。ドレッシングの他の部分は、フィルムの周辺から内側に間隙をあけてＵ型パターンに配置された密閉のために必須なオス型構成要素を有する注入成形フィルムでできている。ドレッシングの２つの部分と一緒に圧力を掛けると、オス型構成要素はメス型構成要素と組合わさって、２つの部分に密閉固定を提供する。

【００２１】

もう一つの実施形態では、ドレッシングは第１部分のみによって形成される。この実施形態では、第２部分は除去されるか、あるいは第１の場所の第１部分に固定されない。患者の中の埋込型ヒューバー針組立部品を包み込むのにドレッシングを使用する場合、ドレッシングのパッドはパッド上のドーム状の覆い内にヒューバー針のハウジングを包含するように患者の皮膚に当てられ、ヒューバー針のチュービングはパッドのスリットおよびドーム状の覆い内のスリットを通過する。その後、ヒューバー針のチュービング、カテーテル、密閉クランプは覆われる必要はないが、露出して置かれる可能性がある。

【００２２】

本発明のこれらの目的およびその他の目的は、添付図面と共に下記の詳細な説明から明らかになる。

【図面の簡単な説明】

【００２３】

【図１】本発明に従って構成されたドレッシングの下面図。

【図２】図１のドレッシングの上面図。

【図３】図１のドレッシングが使用された、ヒューバー針組立部品の上面図。

【図４】本発明による、ヒューバー針組立部品のハウジング上に正しく置かれたパッドを含む部分と、該部分の側端上にある剥離層を有する図１のドレッシングの、剥離層が剥がされる過程の、上面図。

【図５】パッドを含む部分のドーム状の覆いの周りに曲げられる過程の、ヒューバー針組立部品のチュービング、カテーテルおよびクランプを示す図４に類似した図。

【図６】ドレッシングのカバー成形部分上の除去される過程の剥離層を示す図５に類似した図。

【図７】カバー成形部分の完全に除去された剥離層を示す図５に類似した図。

【図８】本発明に従って、ヒューバー針組立部品上に折り重なった状態の図１のドレッシングを示す図。

【図９】図８の線９－９の断面図。

【図１０】ドレッシングのパッドを含む部分内のドーム状の覆いの周辺部分に微生物層を有する変形ドレッシングの下面図。

【図１１】本発明に従って、パッドを含む部分のドーム状の覆い内に硬質発泡材料の挿入口を有するドレッシングの下面図。

【図１２】本発明による、ジップロック型密閉を有する変形ドレッシングの上面図。

【図１３】開放状態における図１２のジップロック型密閉の構成要素の模式的断面図。

【図１４】閉状態における図１２のジップロック型密閉の構成要素の模式的断面図。

【発明を実施するための形態】

【００２４】

図１を参照すると、ドレッシング１０は、埋込型ヒューバー針組立部品の部位を保護するために使用される場合、お互いに折り重なるようになる２つの部材１１、１２を含む。

【００２５】

図３を参照すると、ヒューバー針組立部品１３は、Ｌ型ヒューバー針（図示なし）のためのハウジング１４、ハウジング１４から伸び、ヒューバー針と連携して患者（図示なし）内の注入ポートにヒューバー針を介して薬剤またはその他の流動物を運搬するチュービング１５、チュービング１５の末端のメス型ルアー形状のカテーテル１６、およびチュービング１５の中間部分に位置する密閉クランプ１７を含有する。

【００２６】

図１を参照すると、ドレッシング１０の第１部分１１は、患者の皮膚への接着用に適している接着剤層１９を提供している長方形のパッド１８を含有する。さらに、接着剤層１９は除去可能な主剥離層２０および除去可能な２つの側面ひも状剥離層２１によって覆われている。

【００２７】

パッド１８は、業界で既知の３Ｍ（登録商標）＃１７７２医療テープなどのポリエチレン材で作られている。

【００２８】

ドレッシング１０の第２部分１２は、長方形であり、薄膜透明プラスチックフィルム２２で作られ、たとえば、ポリエチレン製である。パッド１８と患者の接着用に、ドレッシングの上面の３つの外周端部（図７参照）上に医療用アクリル系接着剤の接着剤層２３があり、ドレッシングの周辺部にクラフトライナーの除去可能な接着剤２３を覆う剥離層２４がある。

【００２９】

ドレッシング１０の２つの部分１１、１２は、パッド１８の幅に等しいプラスチックフィルム２２の片側から突き出した狭い縁２５（図９参照）を介して互いに固定され、狭い縁２５は、接着剤層２０および剥離層２１、２２間に挟まれ、接着剤層２０を介してパッド１８に接着されている。

【００３０】

図２を参照すると、パッド１８は、中央に位置する例えば長方形の開口部２６と、開口部２６からパッド１８の端まで伸びるスリット２７を有する。さらに、透明プラスチック

の自己支持型ドーム状の覆い 28 は、はめ合わせの関係により開口部 26 に取り付けられ、ドーム状の覆い 28 は、パッド 18 の下面の接着剤層 20 に接着する周辺フランジ（突縁）29 を有する（図 9 参照）。

【0031】

図 2、9 を参照すると、ドーム状の覆い 28 はヒューバー針組立部品 13 のハウジング 14 の形状を収容するように形作られ、例えば、4 つの傾斜側面と平らな上面を持つピラミッド形である。さらに、スリット 27 に面したドーム状の覆い 28 の側面はスリット 27 の一直線にある溝 30 を有する。

【0032】

ドーム状の覆い 28 は、通気性のための通気口（図示なし）も、提供されてもよい。同様に、パッド 18 およびプラスチックフィルム 23 は呼吸できるような材料で作られ、それにより空気がヒューバー針の創傷部位に到達できるようになる。

【0033】

図 2 を参照すると、一実施形態において、挿入口 31 は、衝撃力からドーム状の覆い 28 をまもるために選択可能にドーム状の覆い 28 内に設けられ、硬質の発泡材料で作られ、ドーム状の覆い 28 内の周辺部に配置されている。図示されているように、挿入口 31 は、片側に、ドーム状の覆い 28 のスロット 30 およびパッド 13 のスリット 27 と一直線になるような溝 32 をもつ 1 つ部品により作られている。

【0034】

図 4 に図示されているように、ドレッシング 10 が埋込型ヒューバー針組立部品 13 にかぶさるように置かれる場合、第 1 部分 11 のパッド 18 上の除去可能な主剥離層 20（図示なし）は接着剤層 19 を露出するために剥がされ、施術者は、除去可能な 2 つの側面ひも状剥離層 21 によって未だに覆われているパッド 18 の 2 つの側端をつかみ、ヒューバー針組立部品 13 のハウジング 14 の上にドーム状の覆い 28 を手動で位置決めする。パッド 18 は患者の皮膚に圧着されるように、残りの除去可能な 2 つの側面ひも状 21 は図示されているように剥がされる。

【0035】

ドレッシング 10 の第 1 部分 11 のパッド 18 は所定位置に圧着されるので、ヒューバー針組立部品 13 のチュービング 15 は、パッド 18 のスリット 27 およびドーム状の覆い 28 の溝 30 を通過する（図 5 参照）。

【0036】

図 5 を参照すると、パッド 18 のスリット 27 を通過後、ヒューバー針組立部品 13 のチュービング 15 は、ドーム状の覆い 28 の周囲に巻かれて、密閉クランプ 17 およびカテーテル 16 と共にパッド 18 の上面に対して平らになる。

【0037】

次に、図 6、7 を参照すると、ドレッシング 10 の裏面 12 のプラスチックフィルム 22 上の剥離層 24 は、プラスチックフィルム 22 の 3 つの側端上に接着剤 23 を露出するために剥がれる。その後、プラスチックフィルム 22 は、パッド 18、ドーム状の覆い 28、巻かれたチュービング 15、密閉クランプ 17 およびカテーテル 16 を覆うように折り重なる。次に、プラスチックフィルム 22 の周囲は、接着剤 23 を介して患者の皮膚に押されて接着され、図 8 および 9 に図示されているように、パッド 18、チュービング 15、クランプ 17 およびカテーテル 16 を包み込む。

【0038】

図 7 および 8 のように、プラスチックフィルム 22 の幅はパッド 18 の幅に比べて広く、プラスチックフィルム 22 の 2 つの側面端上の接着剤層 23 の幅は、パッド 18 の 2 つの側面端に沿って封をし、周囲の環境からその側面端を密閉するには十分な幅である。プラスチックフィルム 22 の長さは、パッド 18 の末端縁とプラスチックフィルム 22 の末端縁上の接着剤層 23 との間に隙 33 が存在するように、パッド 18 の長さに比べて長い。

【0039】

注目すべきことは、さまざまな種類のヒューバー針ラインセットがあり、短針、長針があり、Yサイト注入ポートまたは注射針コネクタを含有する。プラスチックフィルム22の余長は、複数の形状の被覆が可能になる。ラインセットが長く、拭き取り可能(swapable)なYサイトを含有する場合、間隙33はそこには存在しない。

【0040】

図9を参照すると、ドレッシング10がヒューバー針組立部品13を所定の場所に置いてカバーする場合、パッド18は、中心に位置する開口部26の周囲で患者32の皮膚に完全に接着され、ヒューバー針部位の無菌を維持するために、その開口部からドーム状の覆い28が挿入される。プラスチックフィルム22は、患者34の皮膚面に3辺で接着され、密室にチュービング15、クランプ17およびカテーテル16を包み込むように第4辺でパッド18と一体になっている。

【0041】

図10を参照すると、上述のように、類似の参照文字は類似の部分进行指し、パッド18の底面はドーム状の覆い受け取り開口部26の周囲に菌体層35を提供されても良い。菌体層は、長方形の輪状またはその他の適切な形に切断され、当業者に知られている適切な薄い抗菌素材によって形成されても良い。

【0042】

その代わりに、ドーム状の覆い28のフランジ29は、感染症と戦うのを助けるための抗菌被覆を備えても良い。

【0043】

図11を参照すると、上述のように、類似の参照文字は類似の部分进行指し、挿入口31がドーム状の覆い28内に選択的に提供される場合、挿入口31は溝32と一体であり、一方においてドーム状の覆い28の溝30と一直線状である。図示しているように、挿入口31は長方形の輪状からなり、滑り嵌め方法でドーム状の覆い28に嵌まり、ドーム状の覆い28の壁の内面の形状をとるような大きさである。挿入口31は不注意な衝撃に備えてドーム状の覆い28を硬くするように、ドーム状の覆い28の内側の高さに等しい高さである。

【0044】

挿入口31が使用されない場合の実施形態では、ドーム状の覆い28はヒューバー針組立部品13のハウジング14とぴったり合うより小さな大きさに作られても良い。

【0045】

有利には、ドーム状の覆い28は、ヒューバー針組立部品13のハウジング14およびヒューバー針の挿入部位の感染症の観察ができるように透明である。さらに、プラスチックフィルム22がパッド18上に適用される場合、ドレッシングのパッド18は、ヒューバー針組立部品の密閉クランプ17およびカテーテル26が患者の皮膚にくい込むことを防止する快適なパッドとして機能する。

【0046】

ドレッシング10の裏面12のプラスチックフィルム22が硬質プラスチックで作られている場合、プラスチックフィルム22はドーム状の覆い28上に覆うドーム状カバーを形成しても良く、それによって、ヒューバー針組立部品13のハウジング14を不注意な衝撃から守るさらなる保護をもたらす。プラスチックフィルム22がもっと柔軟なプラスチックでできている場合、フィルム22はドーム状の覆い28上に平たく横たっても良く、または、ドーム状の覆い28および取り囲むラインセットに一致させても良い。

【0047】

閉じられた後、ドレッシング10は患者に薬剤またはその他の流動物を投与するために、診療医または患者が埋込型ヒューバー針組立部品13のカテーテル16へのアクセスを許すように容易に開放されても良い。さらに、ドレッシング10は第1部分11、第2部分12をお互いに閉じることなく使用され、患者が第1部分11、第2部分を一緒に簡単に閉じることができ、第1部分11、第2部分12の間に水分および/または石けんの泡を入れないでシャワーを浴びることができるようにしても良い。

【 0 0 4 8 】

図 1 2 を参照すると、上述のように、類似の参照文字は類似の部分进行指し、埋込型ヒューバー針組立部品の部位を保護するために使用する場合、ドレッシング 1 0 ' は上記のように、お互いに折り重なるべきである 2 つの部分 1 1 '、1 2 ' を有する。

【 0 0 4 9 】

第 1 部分 1 1 ' は、ドーム状の覆い 2 8 の溝（図示なし）およびパッド 1 8 のスリット 2 7 を含み、図 1 および 2 に関して上述したように作られている。

【 0 0 5 0 】

図 1 2 および 1 4 を参照すると、第 1 部分 1 1 ' のパッド 1 8 は、パッド 1 8 の周囲から内部に間隔を置いて U 型パターン状に配置されるジップロック型密閉に不可欠なメス型の構成要素を伴って、射出成形されている。

【 0 0 5 1 】

第 2 部分 1 2 ' は、上述の様に単層フィルム 2 2 として作られている。

【 0 0 5 2 】

図 1 2 および 1 3 を参照すると、単層フィルム 2 2 はフィルム 2 2 の周囲から内部に間隔を開けて U 型パターン状に配置される密閉に不可欠なオス型の構成要素を伴って、射出成形されている。

【 0 0 5 3 】

この実施形態において、2 つの部分 1 1 '、1 2 ' はお互いに折り重なることができるように、隣接する端に沿って一緒に溶接される。

【 0 0 5 4 】

図 1 4 のように、ドレッシング 1 0 ' の 2 つの部分 1 1 '、1 2 ' に一緒に圧力を加えると、オス型の構成要素 3 5 はメス型の構成要素 3 4 と対になって、2 つの部分 1 1 '、1 2 ' の密閉固定を提供し、湿気が 2 つの部分 1 1 ' と 1 2 ' の間から入ってくることから守る。

【 0 0 5 5 】

図 1 3 を参照すると、密閉のメス型の構成要素 3 4 は、構成要素 3 4 内で溝を形成する一対の内側に向うタブ 3 6 を伴う、円形の断面を有する。オス型の構成要素 3 5 は、フィルム 2 2 に向かって角度がついた突起 3 8 を伴って形成された膨らんだ端部 3 7 を持つピン形状の断面を有する。使用時、オス型の構成要素 3 5 はメス型の構成要素 3 4 に押し込まれ、膨らんだ端部 3 7 と突起 3 8 がメス型の構成要素のタブ 3 6 を広げ、図 1 4 に図示するように、突起 3 8 がタブ 3 6 の 1 つに係合する。

【 0 0 5 6 】

密閉部 3 4、3 5 は、射出成型を容易にするために、角を丸くした連続した U 型に作られているが、密閉部は、隣接する部分の間に隙間を伴う、3 つの互いに垂直な部分により作られても良い。この場合、フィルム 2 2 に、湿気の侵入に対して、2 つの互いに垂直となる部分間に形成される隙間をブロックする隆起（図示なし）などを提供しても良い。

【 0 0 5 7 】

図 1 2 のように、ドレッシング 1 0 ' の 2 つの部分 1 1 '、1 2 ' は、第 2 部分 1 2 ' が接着剤による患者への接着が必要ではないので、同じ幅である。さらに、2 つの部分 1 1 '、1 2 ' が折り重なった時に、2 つの部分 1 1 '、1 2 ' は構成要素 3 4、3 5 を介してインターロックするように、構成要素 3 4、3 5 は線と線が重なる。また、第 2 部分 1 2 ' のフィルム 2 2 はパッド 1 8 のふちのあたりの折り曲げ点でわずかに伸びる。

【 0 0 5 8 】

また、図 1 2 のように、密閉後に 2 つの部分 1 1 '、1 2 ' を分離するために、2 つの部分 1 1 '、1 2 ' を分離するための部分 1 2 ' を手で行うのを容易にする突起タブ 3 9 を伴ってフィルム 2 2 が形成されても良い。

【 0 0 5 9 】

したがって、本発明は埋込み型ヒューバー針の部位を無菌状態に維持できる埋込み型ヒューバー針組立部品用の比較的簡単なドレッシングを提供し、しかも、ヒューバー針組立

部品のチュービング、カテーテル、クランプを効果的に覆い、収容することができる。

【 0 0 6 0 】

また、本発明は不注意な衝撃からヒューバー針を保護する埋込み型ヒューバー針組立部品用のドレッシングを提供する。

【 0 0 6 1 】

さらに、本発明は注入液の投与を受けていない時に、ヒューバー針を伴った患者が歩行して所定の位置につくことが可能になるように、延長された期間、定位置にとどまるドレッシングを提供する。